

墓目 良雨選

特選

東葛や江戸まで六里青き踏む

里村 梨邨

春深し剥製の鳥翔つ構へ

諸岡 和子

太古より炊ぎしならひ母子草

美濃 律子

入選

竪穴式住居の森は蝶の森

佐久間 敏高

隠沼の静寂の底や鶺鴒の鳴く

山本 雅子

葛飾は今も昔も桃咲けり

小林 陽子

瞬きに位置見失ふ雲雀の巢

吉田 政江

夜桜や飛入りも可の音楽会

大石 早苗

むず痒き水面となれり蘆の角

森岡 正作

父と子のおたまじやくしに向き合へる

栗原 実季

騒ぎ立つ風を均して竹の秋

頓所 友枝

竪穴住居まるく使ひてあたたかし

茂呂 昇平

山すそをひと色違へ竹の秋

森田 尚宏

泣き叫び水浴び習ふ鴉の子

和田 満水

縄文の土鈴を振りて春惜しむ

渡辺 孝子

入口は一つ巢箱も竪穴も

さが あとり

緑さす彫刻の子のおちんちん

中山 和子

ゆつくりと水の岐るる蘆若葉

染谷 秀雄

レース編むただ編む女の背に孤独

塚田 春美

竪穴は時の入り口鳥雲に

須賀 ゆかり

探梅行杖さながらに妻の肩

大多和 明彦

どこからか春の水音野草園

渡辺 久実

春陰の竪穴遺跡覗き込む

北川 昭久